

## 観光先進国の実現に向けた外国人旅行者の受入環境整備について

我が国では、少子高齢化の進展により、人口が減少に転じており、経済の活力を維持していく上で、経済効果の大きい観光交流人口を増やす取組の重要性が高まっている。

近年、日本を訪れる外国人旅行者は増加を続けており、2017年には2,800万人を超え、今後は、ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を控え、幅広い地域において来訪者の増加が期待されることから、その取組を加速させる必要がある。

そこで、日本を訪れる外国人旅行者がストレスなく円滑に移動し、快適に観光を満喫できる環境整備を促進することが重要である。

とりわけ、観光庁が外国人旅行者を対象に実施したアンケート調査において、旅行中に困ったこととして上位に挙げられた項目については、早急な対応が必要である。

貴社においては、観光先進国の実現に向けて、次の事項について特段の措置を講じられたい。

- 1 外国人旅行者が快適に利用できる通信環境を実現するため、無料公衆無線LANの接続環境の整備に努めること。
- 2 訪日外国人向けのジャパン・レール・パス等について、指定席のインターネット予約の可能化や窓口以外での発券など利用しやすい環境整備に努めること。
- 3 外国人旅行者が円滑かつ快適に移動ができる機会を創出するため、ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催期間を中心に、周遊パスなどの企画乗車券の発行に努めること。

- 4 外国人旅行者が移動する際の利便性向上のため、交通系 I C カードが広域的に利用できる環境の整備に努めること。